

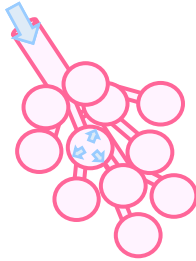


出生は一番のストレス ～超早産児の蘇生～

? 超早産児のデリケートな肺で呼吸や循環を維持するためには何に注意したらいいかな

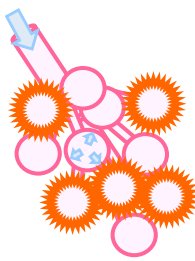
マンメーターを見ながら圧を調整してね。肺サーファクタントが欠乏しているから、上手に肺泡を開くように。でも、気胸には注意して。だって、こんな肺なんだから。

陽圧換気

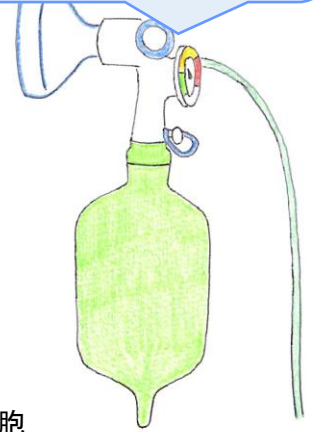


<超早産児の肺>
正常な肺胞
ただし、数が少ない

陽圧換気

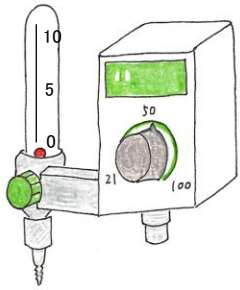


<超早産+FIRSの肺>
正常な肺胞
ただし、数が少ない
しかも、炎症に曝露されていた肺胞

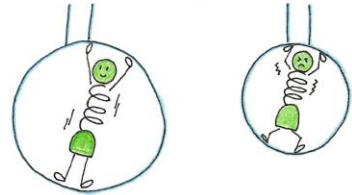


吸入酸素濃度も大切だよ。パルスオキシメーターできちんと調整してね。だって、わずかな体動でも動脈管の血流が逆転してしまうからね。

呼吸が安定しなければ、気管挿管することも必要だね。あと、迷わず手術室でも人工肺サーファクタント投与をしてほしいかな。だって、すぐ肺胞がつぶれちゃうからね。



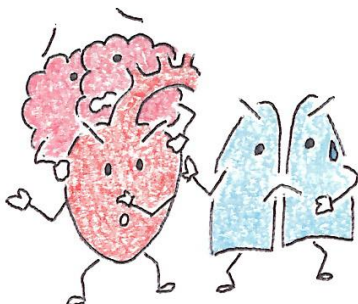
サーファクタントの働き



挿管処置に呼気CO2検出器は必須だよ。だって、食道挿管になってないかはわかりにくいんだ。



サーファクテンは
1バイアルを温生食
3 mlで溶解してね



あと、臍帯が切れちゃうことって、結構大きな変化なんだよ。だって、胎児循環から新生児循環に変わらなきゃならないんだもの

